

創価大学別科日本語研修課程の内容

I 創価大学の概要

創価大学は1971年に池田大作先生によって創立されました。本学の教育理念の淵源は、1930年に牧口常三郎先生が著された『創価教育学体系』の人間教育の理念に基づいています。

現在、大学院6研究科、6学部9学科、別科日本語研修課程・日本語特別課程、通信教育部を擁しています。また、世界各国からの留学生約300名が学んでいます。海外の大学との交流協定も44か国・地域119大学に及び、活発な交流を行っています。

II 別科日本語研修課程の概要

(1) 目的

別科日本語研修課程は、創価大学に入学することを希望する外国人学生に対して大学における講義を理解するために必要な日本語の知識を教授することを目的として設置されたものです。

(2) 入学時期および授業期間

入学時期は、毎年1回4月です。授業期間は、1年を次の2学期に分けます。

春学期：4月1日から9月15日まで

秋学期：9月16日から翌年3月31日まで

授業は毎週月曜日～金曜日に行い、土・日曜日、国の定める祝祭日は原則として休みとします。その他、夏季休業、冬季休業、学年末休業があります。

夏季休業：8月上旬から9月中旬まで

冬季休業：12月下旬から1月上旬まで

学年末休業：2月初旬から3月31日まで

(3) 修業年限 1年

(4) 別科修了単位数 32単位

- ・必修科目 24単位（日本語科目）
- ・選択必修科目 8単位（日本事情科目等）

(5) 授業科目

別科日本語研修課程の授業科目は表の通りです。「日本語」では、「読む」「書く」「聞く」「話す」力を総合的に養います。また、一人一人の進路に合わせて、日本の社会、歴史、文化などについて学ぶ「日本事情」、「外国語」、「数学」を開講しています。

教科目	科目名	授業内容	春学期	秋学期	選択・必修	備考
日本語	日本語(Ⅰ,Ⅱ)A	文法・読解	5単位	5単位	必修	日本語レベルに応じてクラス分けを行い、レベルに準じた授業を行います。
	日本語(Ⅰ,Ⅱ)B	聴解	1単位	1単位	必修	
	日本語(Ⅰ,Ⅱ)C	文字・語彙	2単位	2単位	必修	
	日本語(Ⅰ,Ⅱ)D	作文・表現	3単位	3単位	必修	
	日本語演習(Ⅰ,Ⅱ)	総合演習	1単位	1単位	必修	
	初級漢字	漢字	1単位	1単位	選択	
日本事情	日本事情(人文系)	人文科学	2単位	2単位	選択必修	各科目とも複数開講の予定です。各学期2科目ずつ選択する必要があります。
	日本事情(社会系)	社会科学	2単位	2単位	選択必修	
	日本事情(情報・技術系)	情報・生命・環境	2単位	2単位	選択必修	
	日本事情(日本語・日本文化系)	日本文化	2単位	2単位	選択必修	
外国語	英語(Ⅰ,Ⅱ)		1単位	1単位	選択	
数学	数学(Ⅰ,Ⅱ)		1単位	1単位	選択	

※春学期については、日本事情科目を日本語科目に振り替えて行う場合があります。

(6) 成績及び課程の修了

単位認定および成績評価は、試験と平常の成績によります。成績の評価は、S、A、B、C、D、Eとし、S、A、B、C、Dを合格、Eを不合格とします。1年在学して所定の単位を取得した者には修了証書を授与します。

(7) 学部への推薦

創価大学では、別科での成績、日常の学習及び生活態度、出席状況等により、創価大学の学部1年次へ推薦します。ただし、日本留学試験、本学の外国人入試を受験しなければなりません。なお、創価大学大学院については、推薦入学制度はありません。

2011 年度生（2011 年 4 月入学生）応募要領

(1) 募集人員

35 名

(2) 応募資格

1. 外国において 12 年間の学校教育（中等教育を修了している要件を含む）を修了した者、または、2011 年 3 月までに修了見込みの者。
2. その国における大学入学資格認定試験等に合格し、大学入学資格を有する者

[注]

- 志願者は日本語能力検定試験 4 級に合格しているか、あるいは同レベルの日本語能力を有していることが望ましい。
- すでに十分な日本語能力を有している者には、入学を許可しないことがある。
- すでに日本に長期滞在している者には、入学を許可しないことがある。

(3) 応募手続き

① 出願方法

出願は保証人が、郵送にて行って下さい。

[注]

- 志願者からの直接の郵送及び窓口での提出は受付の対象としないので注意して下さい。
- 保証人については、6 ページの「保証人について」をご覧ください。

② 出願期間 2010 年 6 月中旬～2010 年 9 月 17 日（金）まで（消印有効）

③ 出願先 〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

創価大学国際部国際課 別科係

※ 同封の専用封筒で送付して下さい。

④ 出願書類 次ページの「出願書類一覧表」を参照して下さい。

- 別科入試の出願書類として提出された個人情報、別科入試に係る書類選考及び合否発表等のために使用いたしません。なお、合格者については、入国・入学手続き及び在学中の学生管理のために使用する場合があります。
- 書類は全て日本語または英語で作成すること。日本語、英語以外の言語で作成されている場合は、必ず日本語の訳文を添付すること。

(4) 選考及び合格発表

選考は、提出された書類によって行い、合格と認められた者に対しては入学許可通知書、不合格と認められた者に対しては不合格通知書を、2010 年 11 月上旬に保証人宛に郵送します。

なお、合否は、志願者本人の志望動機や希望する進路、出身高校・大学における成績などから総合的に判定します。

出願書類一覧表

○志願者が準備する書類

以下の書類は、必ず提出してください。

提出書類	作成に当たっての注意事項	指定用紙	提出部数
入学願書	「※欄」を除いて全て記入すること。4cm×3cmの顔写真を貼付すること。学歴欄は、在籍した全ての学校名、所在地、転出年月、転入年月等を記入すること。所定の欄に書ききれない場合は、くわしい学歴を別に記入して添付すること。	S-A	1通
顔写真(カラー)	最近3か月以内に撮影した顔写真で、上半身無帽・無背景のものを使用し、1枚は入学願書に貼付し、残り3枚の写真の裏に、氏名・国籍を記入すること。	ﾀﾞ ﾞｺ 4cm×3cm	4枚
推薦書(2種)	1通は最終学校の学校長、学年主任または担任教員が自筆で作成したもの、日本語学校の教員のものとは不可。もう1通の推薦者は特に制限しないが、保証人とは同一としないこと。	S-B1 S-B2	2通
健康診断書	必ず医師が記入すること。医師の署名がないものは不可。	S-C	1通
アンケート	アンケート用紙の表裏の質問にすべて回答すること。	S-D	1通
作文	「私の経歴と志望理由」のテーマで将来の希望を含め、高校や大学での学習や諸活動の内容等も入れて、日本語または英語で作成すること。英語の場合、パソコンなどで作成の上、裏面に印刷すること。所定の用紙1枚以内。	S-E	1通
経費支弁書※	別科における1年間の学費、生活費について、支弁の裏付けとなる書類(銀行残高証明書等)を添付し、提出すること。経費支弁書には、経費支弁の裏付けとなる書類を添付すること。詳細は5ページの「経費支弁」の欄を参照すること。	S-F	1通
高校成績証明書※ (原本)	全学年の成績を証明するもの。出身高校に依頼して作成すること。証明書の発行が出来ない場合は、成績通知書の原本を提出すること。コピーや訳文のみの提出は不可。		1通
高校卒業証明書※ (原本)	出願時に高校に在籍している者は、卒業見込証明書を提出すること。卒業見込証明書を提出した者は、卒業後すみやかに卒業証明書を本学国際課へ提出すること。証明書が発行されない場合は、卒業証書の原本を提出すること。コピーや訳文のみの提出は不可。		1通
大学入学資格証明書、統一試験・大学進学適性テストの成績通知書※	<ul style="list-style-type: none"> ・中国は全国統一大学入試 ・韓国は大学修学能力試験(高校在学者は6月実施の模擬試験) ・マレーシアの教育制度では Form6 ・アメリカの教育制度では SAT I、SAT II、ACT のいずれか ・イギリスの教育制度では A levels ・フランスの教育制度では Baccalaureate ・ドイツの教育制度では Abitur ・オーストラリアの教育制度では High School Certificate(HSC) ・国際バカロレアの教育制度では国際バカロレア(IB) ・その他の国の教育制度では大学入学資格を判定する公的資格試験 以上の書類を提出できない場合は、その理由書(書式任意)を提出すること。		1通

※成績証明書ならびに卒業証明書については、英語または日本語の訳文を必ず添付すること。

※原本の返却が必要な場合については、7ページの「証書等返却の注意」を参照すること。

以下の書類は、該当者のみ提出してください。

提出書類	作成に当たっての注意事項	提出部数
大学成績証明書※ (原本)	すでに大学を卒業した者は、全学年にわたる成績証明書を提出すること。 現在大学に在学中の者は、1年次から現在までの成績証明書を提出すること。	1通
大学卒業証明書※ (原本)	大学を卒業している者は、卒業証明書を提出すること。 卒業証明書が発行されない場合は、卒業証書の原本を提出すること。	1通
学士号取得証明書	学士号を取得している者は、提出すること。特に大学の卒業証明書と別に、学士号取得証明書が発行される国からの志願者は、提出すること。	1通

※成績証明書ならびに卒業証明書については、英語または日本語の訳文を必ず添付すること。

※原本の返却が必要な場合については、7ページの「証書等返却の注意」を参照すること。

以下の書類は、任意で提出して下さい。

提出書類	作成に当たっての注意事項	指定用紙	提出部数
日本語能力認定書	日本語教師、日本政府在外公館員または日本語能力を認定できる方に記入を依頼すること。また、日本語能力検定試験を受験した者は、認定結果及び成績に関する証明書をあわせて提出すること。	S-G	任意
英語能力証明書	TOEFL 等を受験した者は、そのスコアを提出すること。		任意
パスポートまたは 外国人登録済証明書 の写し	①日本国外に居住している出願者 パスポート全ページの写し(ただし、パスポートを所有している場合のみ。)。 ②日本国内に居住している出願者 パスポート全ページまたは外国人登録済証明书写し		任意

○保証人が準備して、提出する書類

(保証人については6ページの「保証人について」の項目を参照して下さい。)

提出書類	指定用紙	提出部数
保証書	G-A	1通
入学試験検定料 振込確認表	入学試験検定料は、ATMにて振り込み、必要事項を記入すること。入学試験検定料の振込先等については、6ページの「入学試験検定料」の欄を参照すること。 G-B	1通
住民票、 または、保証人が外国籍の場合は、外国人登録済証明書		1通
在職証明書		1通

※1人の方が、複数の志願者の保証人になる場合、住民票（外国人登録済証明書）と在職証明書は、保証人1人につき1枚で結構です。

(5)経費支弁

経費支弁書については、所定の用紙に経費支弁者が署名し、以下の要領により経費支弁の裏付けとなる書類を添付して下さい。

①本人が経費を支弁する場合

- 本人名義の預金残高証明書（日本円で150万円以上の残高を証明できるもの）
- 在職証明書
- 年収証明書

②本人の親族等からの本国からの送金による場合

- 送金者名義の預金残高証明書（日本円で150万円以上の残高を証明できるもの）
- 在職証明書
- 年収証明書
- 本人との関係を証明する文書(戸籍謄本、住民票、親族公証書等)

③奨学金による場合

- 奨学金給付額、給付期間、給付機関が明記された奨学金給付証明書
(支給金額の合計が年間で150万円程度になるもの)

④日本在住者が経費を支弁する場合

- 総所得金額の記載のある課税証明書(確定申告控の写し、源泉徴収票等)
- 送金者名義の預金残高証明書(日本円で150万円以上の残高を証明できるもの)
- 在職証明書(自営業の場合は登記簿謄本の写しまたは営業許可証等)
※ 保証人が支弁者の場合は、1通のみの提出で結構です。
- 住民票(支弁者が外国人の場合は外国人登録済証明書)
- 経費支弁者が知人、友人の場合、本人との関係がわかる資料(一緒に写っている写真など)

学費などの経費については、原則として事前に準備をお願いします。

(6)保証人について

保証人は、日本に滞在している方で、留学生の出願・入学手続きをはじめ、留学生が日本に滞在する期間中も、公私にわたり重要な役割を果たすこととなります。(大学では、紹介しません)

【保証人になるための条件】

- ① 独立の生計を営む成人。
- ② 東京都または隣県に居住する者。

※外国人の場合は、日本での就労が可能なビザを取得し日本に滞在している者で、学生の日本滞在期間終了まで、日本に滞在している者。

【保証人の役割】

- ① 学生の入国・入学に関して、本学と学生の間にとって必要な書類を取りまとめ、諸手続きを行う。※入学検定料・学費・寮費の入金も保証人が行う。
- ② 学生の在学中の学習や生活上の諸問題、帰国時の経費等、学生の一身上のことなどについて最終的な責任を負う。
- ③ 学生が日本国から与えられた在留資格以外の活動をしないように助言し監督する。

(7)入学試験検定料

入学試験検定料は、20,000円です。納入については国内にいる保証人が責任をもって、以下の口座に入金し、「入学試験検定料振込確認表」(G—B)に必要な事項を記入し、提出して下さい。志願者による海外から本口座への直接送金をご遠慮ください。

入学試験検定料振込先：

銀行名	三菱東京UFJ銀行（0005）
支店名	八王子中央支店（226）
預金種目	普通
口座番号	1551093
口座名義	がく ソウダ ｲがく べつ ｶニユｶクケンテイリヨウガチ 学校法人 創価大学別科入学検定料口

- ・ 送金者名については、必ず志願者名を入力して下さい。名前が間違っていると、入金の確認ができなくなる可能性があります。
- ・ いったん納入された入学試験検定料は、いかなる事情があっても返還しません。

(8) 証書等返却の注意

証書等の原本を提出し、返却を希望する場合は、返却を希望する書類を便箋に明記して、返送用の封筒に宛て名と書留の料金を含む切手を貼り、入学願書に同封して下さい。入試係で確認したのち保証人へ返却します。

(9) 出願上の注意事項

- ① 申請書類（願書等）が完備していない場合、および締め切り期限を過ぎて提出された場合は入学選考の対象とはなりません。
- ② 提出された各種証明書について、原本の提出を求める場合があります。
- ③ 提出された各種証明書などが、日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、必ず日本語または英語の訳文を添付して下さい。
- ④ 受理された申請書類の記載事項についての変更は認めません。
- ⑤ いったん受理した願書等の書類および検定料は、理由のいかんに関わらず一切返還しません。（返還を希望する場合は、「証書等返却の注意」を参照して下さい。）
- ⑥ 提出書類に虚偽があった場合は、合格を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願は、郵送（速達・簡易書留）に限定し、国際課窓口へ直接提出することは、原則として認めません。
- ⑧ 書類に不備があった場合、必要書類を追加で請求することがありますので、出願は早めをお願いします。締め切り日間に提出された方で書類に不備があった場合は、審査対象にならないことがありますので、くれぐれも不備のないようお願いいたします。

入学手続き、入国ビザ等について

(1) 入学手続き

①期 間 2010年12月初旬～2011年1月末日

②手続き方法 入学金および授業料等の学費を納付し、必要書類を郵送により提出して下さい。

(注)学費は入学手続き時に一括納入となります。

分割納入はありません。

(注)入学に関する書類は、合格通知後、保証人宛に郵送します。

(注)手続き期間は、事情により変更することがあります。

③送付先 創価大学国際部国際課別科係

④学費等諸納付金 (2010年度実績)

学費	入学金	110,000円
	授業料	430,000円
	研修費	34,000円
	教材費	25,000円
	保健費	8,000円
諸費	学生教育研究災害傷害保険費	1,290円
	合計	608,290円

(2) 在留資格認定証明書の申請、ビザの取得について

別科に入学を許可された外国籍の者は原則として在留資格「留学」の取得が必要です。入学許可後に在留資格取得、入国および滞在に関する手続きをすることになります。

「在留資格認定証明書」交付申請は、大学が取次ぎ申請にて行います。

○ 希望者は入学手続きの際に「在留資格認定証明書交付のための大学代理申請確認表」(本学所定用紙)を提出してください。提出がない場合は、大学では在留資格認定証明書の申請は致しませんので、ご注意ください。

○ また、日本国籍を有する者は、在留資格認定証明書交付申請はできませんので、あらかじめご了解下さい。

➤ 「在留資格認定証明書」についての許可は法務省が行うものであり、不許可となった場合について大学は責任を負うことはできません。

➤ 「在留資格認定証明書」が交付され次第、保証人宛に送付します。保証人は、責任を持って志願者に送付をお願いします。現地にある日本の在外公館にて「在留資格認定証明書」を提示し、査証申請手続を行って下さい。

➤ 代理申請をした場合でも、法務省より必要に応じて証明書等の提出を求められることがあります。

【すでに日本に滞在している場合】

- ① 在留資格が「就学」「留学」の場合は、本人が入国管理局で在留資格の変更または更新の手続きをして下さい。
- ② 在留資格が「日本人の配偶者」「定住者」などの場合は、在留資格変更の必要はありません。ただし、留学生としての優遇措置等（留学生用奨学金等）が受けられない場合があります。
- ③ その他の在留資格の場合は、入国管理局へ相談して下さい。

【保証人等が申請する場合】

保証人もしくは代理人が申請する場合は、直接、最寄りの入国管理局へ申請して取得して下さい。

(3) その他の注意事項

- ① 入学式までに来日しなかった場合、または出願書類・入学手続書類等に虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ② 2010年11月末までに保証人から合否の連絡がない場合は、志願者自身が保証人に問い合わせ、結果について確認して下さい。

別科での学習・生活案内

(1) 日本語学習の準備について

日本語能力検定試験 4 級を取得、もしくは同等レベルの日本語能力を有していることが望まれます。ひらがなとカタカナは、完全に習得しておいて下さい。

(2) 英語能力について

学部・大学院の入学試験で、英語の試験を行う学部・研究科もあります。入学前に十分に学習しておいて下さい。(P. 12 で試験科目を確認して下さい。)

(3) 生活費について

日本での生活費は、一か月 40,000 円から 80,000 円必要です。アルバイトは勉学上望ましくありませんので、あらかじめ日本で生活する上で必要な一年分の資金を準備しておいて下さい。

(4) 奨学金について

別科生に対する奨学金は、原則としてありませんが、文部科学省からの学習奨励費について、別科生の枠があった場合、受給できることがあります。ただし、これまでの実績では、毎年 1 名～2 名程度の採用です。

(5) 学生寮について

別科生専用の学生寮ではありませんが、次の寮に入寮の申込をすることができます。ただし、部屋数の関係で入寮できないこともあります。その場合は、留学生自身が保証人または知人と相談し、住居の確保をして下さい。詳細については、合格発表時に通知します。

寮名	寮費 (2010 年度実績)
[男子寮] 宝友寮 (二人部屋)	386,700 円
[女子寮] サンフラワーホール(一人部屋)	431,800 円
[女子寮] 秋桜 (コスモス) 寮(一人部屋)	431,800 円

(注意事項)

寮費には、入寮費・維持費・舎費(11 か月分)が含まれています。食費は含まれません。なお、別科生に関しては、経済的な負担を軽減するため、入寮費 (60,000 円) を上記の金額から免除します。学部、大学院に進学し継続して学生寮に住む場合には、学部、大学院への進学時に入寮費を改めて納めることになります。

寮費は入学手続き時に一括納入となります。分割納入はありません。

(6) 医療保険など

1. 国民健康保険（強制加入、住居地の役所にて受付）

国民健康保険は病気やけがをしたときに医療費の負担を軽減することを目的とした、健康保険制度です。日本に在留する場合はすべて国民健康保険に加入することが義務づけられています。

国民健康保険は市・町・村が運営している医療保険制度で、加入に際しては保険料の支払いが必要となりますが、医療機関にかかった場合の自己負担額は、全医療費の30%に軽減されます。

*保険料の減額

保険料は地域によって異なりますが、外国人留学生は通常、保険料が70%程度減額されます。（ただし、窓口で所得がないことを申告しないと減額されません。）

創価大学の学部・大学院の入試科目について

創価大学の学部・大学院に進学する場合、以下の表を参考にして下さい。なお、創価大学学部への外国人入学試験では、「日本留学試験」(EJU)の受験が必須となります。

【学部】		外国人学生入試					帰国学生入試			
学 部	学 科	日本留学試験			英語	面接	英語	小論文	数学	面接
		日本語 科目	総合 科目	数学 Ⅱ						
経済学部	経済学科	○	○			○	○	○		○
法学部	法律学科	○	○			○	○	○		○
文学部	人間学科	○	○			○	○	○		○
経営学部	経営学科	○	○			○	○	○		○
教育学部	教育学科	○	○		○	○	○	○		○
	児童教育学科	○	○		○	○	○	○		○
工学部	情報システム工学科	○		○	○	○	○	○	○	○
	生命情報工学科	○		○	○	○	○	○	○	○
	環境共生工学科	○		○	○	○	○	○	○	○

【大学院】		外国人学生入試		
研究科	専攻	専門	英語	面接
経済学研究科	経済学専攻	○	*	○
法学研究科	法律学専攻	○		○
文学研究科	英文学専攻	○		○
	社会学専攻	○		○
	教育学専攻	○		○
	人文学専攻	○		○
工学研究科	情報システム学専攻	※	○	○
	生物工学専攻	※	○	○

*印は別科生の場合、免除になります（一般受験者は免除になりません）

※面接の中で専門分野の学力について試問します。

上記の学部・大学院の入試科目は2010年度実績です。

学部・大学院への進学(入試)についての問い合わせ先(出願資格・選考方法等)

〒192 - 8577 八王子市丹木町 1-236

創価大学入試事務室外国人学生・帰国学生入試係

TEL:042-691-4617 FAX:042-691-9310

なお、大学院進学における専門科目分野に関する問い合わせは以下のとおりです。

○ 文系大学院(経済学・法学・文学各研究科)

〒192 - 8577 八王子市丹木町 1-236

創価大学教務課大学院入試係 TEL:042-691-2203

○工学研究科

〒192 - 8577 八王子市丹木町 1-236

創価大学工学部教務課大学院入試係 TEL:042-691-9400

その他、不明な点は、下記宛に問い合わせして下さい

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

創価大学国際部国際課別科入試・入学手続係

TEL:042-691-8230 FAX:042-691-9456

E-mail : fsao@soka.ac.jp

創価大学 URL : <http://www.soka.ac.jp>